

明比 昭治

県政報告 第81号

後援会討議資料②

- 発行所 〒793-0054 西条市中野甲922-1
TEL 55-0350
- ホームページ www.akehi.jp
- メールアドレス akehi@akehi.jp

第365回

令和元年9月
定例県議会で「あけひ昭治」が
取り組んだ「一般質問」の主な論点

自民党

四国への新幹線導入に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

現在建設中のリニア中央新幹線の開業により、世界中から「ヒト・モノ・カネ・情報」を引き付け、世界を先導する国土構造への変革が期待されている。



【知事答弁】四国への新幹線導入は、大都市圏とのアクセス向上による交流人口の拡大や、地域経済の活性化等に大きく寄与するとともに、JR四国の経営基盤強化による鉄道ネットワークの維持にも資するものであり、一日も早い実現を目指し、取組みを更に強化していく必要がある。



えひめさんさん物語の実施状況はどうか。また、その成果を継承するため、今後どう取り組んでいくのか。

地方の若者たちも頑張っている。イベントの成果を一過性のものとしないう取組みでほしい。

【知事答弁】引き続き、地元3市と連携しながら、チャレンジプログラムのPR支援や、団体同士の連携体制の構築等を後押しすることにより、その成果の継承に継続的に取り組んで、圏域の一体的かつ持続的な発展へとつなげて参りたい。

ニホンザルの生息状況等の調査結果はどうか。また、今後、その適正管理にどのように取り組んでいくのか。

近年、野生鳥獣の生息域が人間の生活圏まで拡大し、それに合わせて、農林水産業や生活環境への被害も大幅に増加している。適切な対策を期待している。

【県民環境部長答弁】国の方針や県環境審議会の審議等を踏まえ、本県初の「愛媛県ニホンザル適正管理計画」(仮称)を、今年度末を目途に策定することとしている。さらに、鳥獣害対策として、今後捕獲の鍵となる狩猟者の育成・確保や捕獲技術の向上のほか、隣接県との広域連携による捕獲体制の構築等に取り組む、市町や関係団体等との連携のもと本計画を着実に推進していく。

県1漁協合併に向けた進捗状況はどうか。

水産業の明るい未来を切り開くためには、漁協組織の早急な再編強化が不可欠と考える。



【農林水産部長答弁】県内の漁協が大同団結し経営基盤の強化を図るため取り組んでいる県1漁協合併は、平成29年に合併推進協議会が設立されて以降、運営体制や漁業権管理などの基本事項の検討、来年4月の県1漁協の設立を目指し準備作業が進められていくことになっている。

いじめに関する相談体制の充実にどのように取り組んでいるのか。

芽が小さいうちに摘み取ることが、撲滅への重要なポイントであると考え。撲滅への効果的な対策として、相談しやすい体制の整備の検討を求める。

【教育長答弁】SNSを活用した、いじめ相談窓口「えひめほっとLINE」を9月2日に新たに開設し、面談や電話による相談とあわせて子どもの悩みを早期にかつ的確にキャッチし、いじめから子どもを守るセーフティネットの構築にしっかりと取り組んで参りたい。

県管理道路の防災対策の現状と今後の取組みはどうか。

【土木部長答弁】昨年の西日本豪雨災害を受けて、緊急輸送道路の法面を再点検した結果、新たに対策が必要な箇所が確認されたことから、今後とも、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」にかかる交付金等を最大限活用しながら、県民の安全・安心につながる県管理道路の防災対策に全力で取り組む。

皆様の声を地域の安心・安全・発展につなげます！
ご意見などお気軽にお聞かせ下さい！
西条の明日を創るためにも全力で頑張ります。

